

質 疑（代表質問）

発言者 辻 正 彦

発 言 の 要 旨（その１）	
1	第7次高松市総合計画について
	(1) 1年目の手応えと今後の課題
	(2) 総合計画をより分かりやすく周知し、市民に浸透させていく取組
	(3) 若年層と情報交換・意見交換を進める必要性
2	高松まちづくりプランについて
	(1) 2年目を迎える現状
	(2) 横連携の強化による相乗効果の創出を進めていく考え
	(3) EBPM——エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキングや、OODAループを活用しながら、施策・事業の改善を図る考え
3	都市連携について
	(1) 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏推進委員会の所感
	(2) 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏において、本市が果たす役割
	(3) 県と本市との幹部職員によるハイレベル協議の重要性
	(4) 瀬戸内エリアにおける、県外の自治体との連携を進める考え
4	創造都市について
	(1) 創造都市推進局設置の成果
	(2) 産業振興に関するビジョン等の策定を検討する考え
	(3) ユネスコ創造都市ネットワーク加盟申請の現状と、今後の展開
	(4) 食文化を振興する考え
5	令和7年度当初予算編成に当たって留意した点と、今後の財政運営の基本的な考えについて
6	職員育成について

発 言 の 要 旨 (その2)
(1) 本市が掲げる職員の人材育成方針
(2) 時代に即した人材育成のために、職員研修を充実させる考え
7 香川県立アリーナのグランドオープンとプロムナード化の供用開始を受けた現状認識と今後の対応について
8 本市シーフロントのさらなる活性化に向けたエリアマネジメントに取り組む考えについて
9 瀬戸内国際芸術祭2025を契機とした離島振興について
(1) 本市離島で経済循環を創出し、拡大していく新たな取組を行う考え
(2) 策定から10年が経過した、大島振興方策の見直しについての考え
10 建築行政について
(1) 過度に厳格な審査により、時間を要することに対する受け止め
(2) 有識者等から審査の在り方について意見をいただくなど、地域活動の支障とならないよう、今後、本市において確認審査にどのように取り組んでいくのか。
11 高松環状道路のルート帯案が絞り込まれたことに対する受け止めについて
12 四国新幹線シンポジウム開催の受け止めと、導入可能性調査を機運の醸成につなげる考えについて
13 官民連携について
(1) 公用車カーシェアリング実証事業における官民連携の経緯と、高松DAPPYによる今後の取組の推進
(2) 官民連携による、レンタサイクル事業の新たな制度設計を検討する考え
14 二十歳のつどいを契機としたプロモーション・まちづくりを進めていく考えについて

発 言 の 要 旨 (その3)	
15	高松市下水道事業基本計画の中間見直しの考え方と今後の対応について
16	南海トラフ地震臨時情報について
	(1) 南海トラフ地震臨時情報における、国や県の検証を踏まえた本市の防災対策
	(2) 即時性を持った情報伝達、及び周知方法の強化を図る考え
	(3) 国の防災庁設置準備室発足を受け、本市の組織体制の見直しや避難所の環境整備など、本市の防災体制強化に対する受け止め
17	マイナ救急の実証事業に取り組む考えについて
18	新たな合葬式墓地の整備に向けた基本的な考えについて
19	観光振興に関するビジョンの策定に取り組む考えについて
20	観光を所管する組織との連携について
	(1) 観光振興のため、香川県と積極的な連携を図る考え
	(2) 高松観光コンベンション・ビューローとの連携の強化に取り組む考え
	(3) 県内各市町との連携をリードしていく考え
21	本市にとっての四国遍路の所感について
22	スポーツを通じた共生社会の実現に向け、今後どのように取り組むのかについて
23	外国人住民に対する言語面の支援を充実させる考えについて
24	農業における担い手確保対策の現状と今後の対応について
25	青少年のSNS等を通じた犯罪被害や加害の防止について

発 言 の 要 旨 (その4)

26 地方選挙において電子投票を取り入れる考えについて